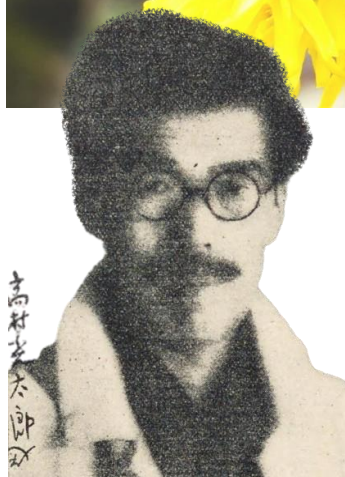


高村光太郎 生誕 140周年

展示期間：令和5年4月22日～6月30日



彫刻家・詩人として日本の近代美術・文学に偉大な足跡を残した高村光太郎は、今年3月13日に生誕140年を迎えました。東部図書館では、光太郎の生涯や作品、妻・智恵子を初めとする周辺人物について知ることのできる資料を集めました。東京に生まれ岩手・花巻を愛した光太郎ですが、千葉県ともゆかりが深く、県内各所に詩碑や逸話が残っています。そんな千葉県ならではの郷土資料や、光太郎が翻訳・執筆した大正時代の貴重な出版物も展示しました。この機会にぜひお手にとってご覧ください。

光太郎の歩みと創造

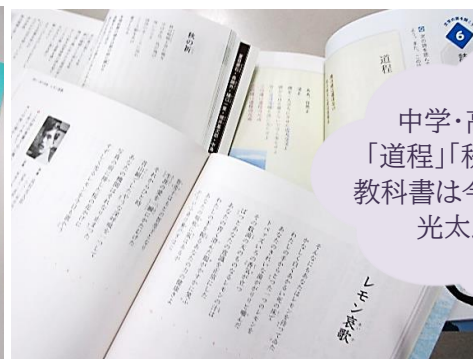
※印＝貸出不可・館内閲覧のみ可の資料
所蔵館：無印＝東部図書館、★印＝中央図書館、☆印＝西部図書館

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号
1	高村光雲 木彫七十年	高村 光雲/著	日本図書センター	2000	7121/23
2	木彫高村光雲	高村 光雲/作	中教出版	1999	71308/3/
3	ロダン 神の手を持つ男	エレヌ・ピネ/著	創元社	2005	71235/5
4	大統領を彫った男 ガッツオン・ボーグラム伝	H・シャフ/著	新評論	1996	71253/1 ★
5	セザンヌ 絶対の探求者	ポール・セザンヌ/画・文	二玄社	1997	72335/125
6	裸像 小説・若き日の高村光太郎	沼口 勝之/著	新人物往来社	2003	9136/ヌカ2/2
7	新帰朝者光太郎 「緑色の太陽」の背景	北川 太一/著	蒼史社	2006	91152/タ12
8	ヒュウザン会前後 光太郎伝試稿	北川 太一/著	文治堂書店	2015	91152/タ16
9	幻の《今井邦子像》の真実 彫刻家高村光太郎が刻んだ歌人の魂	長谷川 創一/編著	水声社	2005	91116/イク5
10	画学生智恵子	北川 太一/著	蒼史社	2004	2891/タ2
11	高村光太郎 智恵子と遊ぶ夢幻の生	湯原 かの子/著	ミネルヴァ書房	2003	91152/タ10
12	日本語を味わう名詩入門 8		あすなろ書房	2011	J911/ニホ ★
13	高村光太郎詩集	高村 光太郎/著	岩波書店	1977	91156/TA45
14	道程	高村 光太郎/著	日本図書センター	1999	91156/タ3
15	道程 新選名著複刻全集近代文学館 [21]	名著複刻全集 編集委員会/編集	日本近代文学館	1982	9186/31

16	高村光太郎『道程』全詩鑑賞	飛高 隆夫/著	明治書院	2009	91156/㊦10	
17	高村光太郎彫刻全作品	高村 光太郎/著	六耀社	1979	7121/27	
18	高村光太郎、その芸術		千葉県立美術館 [1981]		C71/㊦1	☆
19	生誕130年 彫刻家・高村光太郎展	高村光太郎 作	生誕130年彫刻家・高村光太郎展実行委員会	2013	7121/33	★
20	高村光太郎 美に生きる	高村 光太郎/作品・詩文	二玄社	1998	7087/10	
21	美と生命 高村光太郎秀作批評文集 前篇	高村 光太郎/著	書肆心水	2010	9146/㊦4	
22	美と生命 高村光太郎秀作批評文集 後篇	高村 光太郎/著	書肆心水	2010	9146/㊦4	
23	現代の洋画 24(大正3年3月) 特別号		臨川書店	1989	7205/G34	★※
24	智恵子抄 詩集	高村 光太郎/著	日本図書センター	1999	91156/㊦2	
25	『智恵子抄』の世界	大島 竜彦/編著	新典社	2004	91156/㊦4	
26	「智恵子抄」をたどる	成田 健/著	無明舎出版	2015	91156/㊦15	
27	女の首 逆光の「智恵子抄」	黒沢 亜里子/著	ドメス出版	1985	91156/TA45	
28	智恵子抄の光と影	上杉 省和/著	大修館書店	1999	91156/㊦31	
29	智恵子抄の新見と実証	大島 龍彦/著	新典社	2008	91156/㊦9	
30	智恵子抄その後	高村 光太郎/著	竜星閣	1960	91156/TA45/2	
31	詩稿「暗愚小伝」	高村 光太郎/著	二玄社	2006	91156/㊦6	
32	高村光太郎 書の深淵	高村 光太郎/書	二玄社	1999	72821/37	
33	高村光太郎の戦後	中村 稔/著	青土社	2019	91152/㊦19	
34	詩人を旅する	小松 健一/著	草の根出版会	1999	91152/27	

中学美術の教科書の表紙を飾る光太郎の木彫「白文鳥」。

智恵子はこの作品が大好きで、いつも袂に入れて持ち歩いていたとか。



中学・高校国語の教科書には「道程」「秋の祈」「レモン哀歌」が。教科書は今も昔も、新しい世代と光太郎との出会いの場です。

作家論

35	新潮日本文学アルバム 8 高村光太郎		新潮社	1984	91026/56	
36	高村光太郎の世界	請川 利夫/著	新典社	1990	91152/TA45	
37	高村光太郎	吉本 隆明/著	春秋社	1972	91152/TA45	
38	「高村光太郎」という生き方	平居 高志/著	三一書房	2007	91152/㊦13	
39	高村光太郎論	中村 稔/著	青土社	2018	91152/㊦18	
40	高村光太郎考 ぼろぼろな駝鳥	高木 馨/著	文治堂書店	2011	91152/㊦14	

雑誌『青鞥』創刊号。
あまりにも有名なこの
装画を描いたのが、
光太郎と出会う前の
智恵子でした。



主宰の平塚らいてうと
智恵子は、
日本女子大学の
先輩後輩の
間柄だったのです。

智恵子の世界

41	恋文 画集・智恵子抄	高村 光太郎/詩	講談社	1996	7269/1	
42	智恵子 紙絵の美術館	高村 智恵子/作	芳賀書店	1996	7269/9	☆
43	智恵子その愛と美	高村 智恵子/紙絵	二玄社	1997	7269/4	
44	智恵子抄を歩く 素顔の智恵子	大島 裕子/著	新典社	2006	2891/㊦4	
45	光太郎智恵子 うつくしきもの 「三陸廻り」から「みちのく便り」まで	高村 光太郎/著	二玄社	2012	9156/㊦3	
46	智恵子相聞 生涯と紙絵	北川 太一/著	蒼史社	2013	2891/㊦6	

近い人の語る光太郎

47	光太郎回想	高村 豊周/著	日本図書センター	2000	7121/22	
48	わが光太郎	草野 心平/著	二玄社	1969	91152/TA45	★
49	実説・智恵子抄	草野 心平/著	弥生書房	1975	9136/KU84	☆
50	宮沢賢治全集	宮沢 賢治/著	筑摩書房	1956	9186/MI89	★
51	光太郎と葉舟	高村 光太郎/著	葉舟会	1989	C9026/MI96	★※
52	我が愛する詩人の伝記	室生 犀星/著	中央公論社	1967	91152/MU71	
53	高村光太郎ノート	北川 太一/著	北斗会出版部	1991	91152/㊦4	
54	高村光太郎新出書簡 大正期田村松魚宛	高村 光太郎/著	笠間書院	2006	9156/㊦2	
55	寺田弘詩集	寺田 弘/著	土曜美術社出版販売	1994	91156/㊦1	

美術と文学の“二刀流”であった光太郎は、
両界に多くの友人を持ちました。
萩原碌山、岸田劉生、梅原龍三郎、
与謝野鉄幹・晶子、北原白秋、木下杢太郎、
武者小路実篤、宮沢賢治、草野心平……
あなたの好きな作家も、どこかで光太郎と
つながっているかもしれません。

光太郎と千葉

56	ふるさと文学館 第13巻		ぎょうせい	1994	C986/1	
57	太平洋沿岸地区集 1	鳥海 宗一郎/編	あさひふれんど千葉	1995	C936/5	
58	高村光太郎と房総	市原善衛 著	[市原善衛]	2017	C9152/4	★※
59	回想砂丘の詩碑 建立から保存をめぐって	鈴木 美好/編著	九十九里町『白濤俳句会』	1989	C9152/TA45	★※
60	銚子と文学 甦る言葉の海流	岡見 晨明/編	東京文献センター	2001	C902/5	
61	成田の文学散歩	市原 善衛/著	文芸社	1999	C9026/6	
62	利根川場所の記憶	日高 昭二/著	翰林書房	2020	91026/1706	

貴重書

63	ロダンの言葉	ロダン/著・述	叢文閣	1929	704/R58	★※
64	ロダンの言葉 続	ロダン/述	叢文閣	1929	KY704/R58	★※
65	ロダン	高村 光太郎/著	アルス	1927	KY712/TA45	★※
66	水野葉舟君のこと		月明会	1947	C9026	★※

成田市 三里塚
詩「春駒」
≫資料No.13-16, 61ほか

成田には光太郎の無二の親友・水野葉舟が住んでいた

千葉県立美術館
彫塑「手」「裸婦座像」など8点

県立美術館には、光太郎が米国留学中に知り合った千葉県出身の画家・柳敬助の作品も収められている。
敬助の妻・八重が智恵子の大学校の同級生で、智恵子はその縁を頼って敬助の友人である光太郎を紹介してもらったという。

銚子市 犬吠埼
詩「犬吠の太郎」
≫資料No.13-16, 60ほか

今年1月に惜しまれつつ閉館した暁鷄館は光太郎と智恵子の思い出の宿

九十九里町 真亀
詩「風にのる智恵子」
詩「千鳥と遊ぶ智恵子」
≫資料No.24, 59ほか

九十九里浜・真亀納屋には智恵子の妹セツの婚家があり母親のセンも一緒に暮らしていた。
心身を病んだ智恵子は療養のため二人のもとに預けられた。
光太郎は毎週両国から大網、大網から片貝海岸まで電車とバスを乗り継いで智恵子のところへ通った。
リュックサックに一週間分の薬と智恵子の好きな果物とを詰めて。